

## 資料 2 - 2

### 関係各課における課題等の調査まとめ（令和6年5月実施）

#### ●ケースの把握

- ・ 家族又は、医療機関間から連絡がないと区として把握できない。スムーズな支援を開始するにあたり、退院前から関わり、関係機関と連絡を取り、必要なサービスを調整していくことが必要。
- ・ 成長に伴った医療的ケア導入ケースは、情報を把握した時点で関係機関連携が必要。
- ・ 災害時等の緊急対応で全体把握ができておらず不安がある。

#### ●関係機関連携

- ・ 各関係機関が把握している情報を集約・更新するための調整機関が必要。
- ・ 関係機関の役割分担を明確にする必要がある。

#### ●サービス等の情報

- ・ 制度や資源・最新の医療や療育に関する情報が支援者に届いていない。相談支援技術のスキルアップが必要。
- ・ 必要なサービスが少ない。

#### ●人材確保

- ・ 学校、学童クラブにおける看護師の確保が困難。採用方法の検討必要。
- ・ 現場看護師のフォロー体制。

#### ●現場での医療的ケア見対応

- ・ 医療行為を行うスペースの確保。
- ・ 職員の見を受け入れることの不安感への対応。
- ・ 学校等で支援方法等について認識し取り組んでいく必要がある。

#### ●受入れの仕組み

- ・ 待機児が発生している学童クラブでは特例を設ける必要がある。

#### ●継続した支援

- ・ 中学校卒業後の都立学校との連携や体制づくり。